

計画的に学習に取り組むことができる力の育成
—計画と振り返りを通して—

1

本実践に関連する児童生徒の実態

対象 中学生

○課題

- ・家庭学習に取り組む際に、宿題は行すが、自分から教科を決め、時間を設定して学習に取り組むことができない。
- ・家での時間はゲーム、動画視聴に費やしている。

○強み

- ・宿題は必ずやって登校する。
- ・自分でやると決めたことはやりきる。

2

指導目標・指導仮説

教科等及び単元（題材）名
学級活動「家庭学習に計画的に取り組もう」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）
進路決定に向けて、必要な学習を自ら計画を立てて実行することができる。

指導仮説
高校受験に向けて、自分のすべき学習を明確にし、帰りの会で家庭学習について計画を立てれば、宿題以外の学習に取り組むことができるようになるだろう。

児童生徒の実態

3

指導仮説の具体的な内容と評価内容・方法

◆指導仮説の具体的な内容

学習計画表を使って、帰りの会の中で家庭学習の計画を立てる。教科が偏らないように注意したり、授業の内容に配慮したりしながら、家でできることを考えさせる。

◆評価方法（どのような方法で何を評価するか）

次の日の帰りの会で、前日の家庭学習について振り返る時間を設け、学習した日にシールをはる。2時間以上学習に取り組んだらシール1つ、宿題以外の学習に取り組んだらもう1つシールをはることにする。

4

指導の実際①

家での過ごし方を確認する。

下校後の家での過ごし方

16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
部活	宿題 動画	ごはん	動画 ゲーム	動画 ゲーム	動画 ゲーム	動画 ゲーム	寝る

動画を見る時間が多く、家庭学習に取り組むことができていない。

5

指導の実際②

家での過ごし方について考える。

下校後の家での過ごし方（まけ画）

16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
定校	勉強 宿題		ごはん	動画 ゲーム	動画 ゲーム	勉強 宿題	寝る

高校進学に向けて、このままでは志望校へ合格するための勉強が足りないことに気づかせ、家での時間の使い方について考えさせる。毎日の帰りの会で、帰ってからの学習について計画を立て、次の日に学習した内容と、取り組んだ時間等を振り返る時間を確保した。

6

指導の実際③

取組を振り返る。

下校後の家での過ごし方

	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
時間	テレビ 動物園 ゲーム	勉強 宿題	ごはん	動画 ゲーム	お風呂	動画 ゲーム	勉強 宿題	寝る

取組を振り返り、再度計画を立て直す。どのようにすれば、自分の学習がはかどるのか、毎日の生活を考えて自分で計画させる。

7

指導の実際④

自分の取組を振り返り、改善点を見つける。

- 計画では帰ってすぐに勉強に取りかかるようにしていたが、テレビを見たりゲームをしたりして休憩してから勉強する方が集中して取り組めることが分かり、ゲーム時間を計画に入れることにした。
- 動画やゲームをする時間が計画したときより実際は増えてしまったので、受験に向けて減らして勉強する時間を確保する。

8

実践前後での児童生徒の変容

実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> • 下校した後、タブレットを開き、動画やゲームに費やす時間を決めることなく、自由に過ごしていた。 • 夕飯や風呂の時間は家族のルールに従い、毎日ほぼ同じ時間で過ごしている。 • 体力作りにも自主的に取り組んでいる。 • 寝る時間は自分で決めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> • 計画を立て実際にやってみると、動画やゲームを全部やめることができなかった。そのため、動画やゲームをする時間を決め、勉強の時間を確保するようにした。 • 夕食や風呂の時間は変わらず生活している。 • 勉強していても寝る時間は守るようにしていた。

9

評価

- 児童生徒は目標を達成したか。
 - 概ね達成した。
- 判断の理由・根拠
 - 学習に取り組めたら右の写真のようにシールを貼っていき、できたことを見える化した。
 - 達成率は83%であったので、「概ね達成した」とする。



10

指導仮説の検証

- 指導の成果
 - 毎日家庭学習について話をするにより、家庭学習の大切さについて考えるようになった。
 - 帰りの会で時間を設定すれば、自分から家庭学習に取り組むことができた。
 - 家庭学習について考える際に、下校してからの生活について見直すことができた。

- 課題
 - 自分の得意な教科や、取り組みやすい教科が多いなど、取り組む教科について、偏りが出てきた。入試や学年末試験に向けて、まんべんなく取り組めるよう、もっと内容を考えさせる必要があった。

11

指導の改善案

- 成果・課題を踏まえた改善案
 - 卒業まで、家庭学習の取組は続ける。
 - 時間だけではなく、取り組む内容についても先を見通して吟味しながら取り組ませる。

12